

耐震計算の誤入力に係る再発防止対策の実施状況

平成19年10月
日本原燃株式会社

1. はじめに

平成19年8月21日、当社社長は、青森県知事に再処理施設における耐震計算の誤入力に係る報告を行い、8月31日、青森県知事から以下の4項目について要請を受けた。

- (1) 耐震計算誤入力の再発防止対策に係る監査の実施
- (2) 風通しのよい職場風土の醸成・コンプライアンスの徹底
- (3) 耐震計算誤入力の件についての広聴広報活動の実施
- (4) 日本原子力技術協会による当社と協力会社との連携についての評価

これら4項目の実施状況を以下に報告する。

2. 実施状況

(1) 耐震計算誤入力の再発防止対策に係る監査の実施

計算機による設計解析を行う耐震安全性評価業務を監査対象として、同業務を委託している日立GEニュークリア・エナジー株式会社（以下「日立」という。）及び協力会社6社に対して、以下の項目（再発防止対策）の取組み状況を確認することとし、平成19年8月6日から10月28日にかけて順次監査を行い、各社とも再発防止対策を確実に実施していることを確認した。

- ①耐震解析実施状況（入出力データシートによるダブルチェック、簡易法等による設計検証）
- ②標準類への反映（上記のルール化）
- ③コンプライアンス・企業倫理の取組み状況（内部通報制度、コンプライアンス教育、下請会社への展開）

監査の実施に当たっては、監査業務量等を勘案し、平成19年8月6日から8月31日にかけて、上記①のうち入出力データシートによるダブルチェック状況及び②に関する監査を行い、上記①のうち簡易法等による設計検証（以下「設計検証」という。）は、当該業務が進捗する10月に監査を行った。さらに、10月に行った監査では、一部の機器・配管において設計検証が終了していなかったことから、終了後、改めて監査を行った。

日立については、10月に上記①の事項に加え、6月に実施し

た監査（燃料取扱装置及び第1チャンネルボックス切断装置に関する耐震計算誤入力に係る是正処置の実施状況を確認）において継続的に行うとしていた事項が着実に実施されていることを確認した。

以上の監査結果は、いずれも良好であり、各社ごとの実施状況を添付資料1に示す。

今後、当分の間、計算機による設計解析を行う業務が新たに発生した場合には、監査を行うこととし、これらの実施状況を県に報告する。

なお、協力会社に対しては、毎年、年度品質目標を踏まえた重点監査項目を含む監査計画書を策定し、計画的に監査を行うとともに、トラブルが発生した場合には、必要に応じて特別監査を実施している。

（2）風通しのよい職場風土の醸成・コンプライアンスの徹底

風通しのよい職場風土の醸成・コンプライアンスの徹底に関する諸活動は、これまで全社に係る全体活動及び各室・事業部での個別活動にて各々展開を図ってきたところであるが、これまでの諸活動を有機的に結びつけ、経営層主導による、より実効性の高い取り組みとするために、社長を議長とし、副社長、専務、常務、室長及び事業部長から構成する「安全文化推進委員会」を9月12日に設置した。9月18日に第1回委員会を開催し、活動計画等について審議した。第2回委員会は、10月31日に開催する予定である。

今後は、各部署からの取り組み状況の報告に対する評価・指示を行うとともに、協力会社とのコミュニケーションについても、当社及び協力会社の経営層等で構成される品質保証マネジメント会議等と密に連携をとって、これらの活動を体系的かつタイムリーに推進する。

（3）耐震計算誤入力の件についての広聴広報活動の実施

耐震計算誤入力の件について、9月17日にサイクルインフォメーション（新聞広告）、9月26日の新聞折込ちらし、10月11日の新かわら版青い森青い風にてお知らせしている。また、同11日に開催した地域会議の場でもご説明し、「広報上の伝え方は、

長い説明を先にした後で、結論を言うのではなく、まず、自分達の伝えたいことを最初に持ってくるべき。」等のご意見をいただいた。

今後は、これらの意見を踏まえてよりわかりやすい広報活動に取り組んでいく。

(4) 日本原子力技術協会による当社と協力会社との連携についての評価

9月11日に当社社長から日本原子力技術協会理事長に、「協力会社との連携はどうあるべきか」という新しい視点での評価をお願いし、以下の点に関して当社の取組み状況を評価していただくこととなった。

- ・協力会社に委託した業務の管理について
- ・「風通しの良い職場風土」の醸成を含めた協力会社とのコミュニケーションについて

10月25日、26日には、再処理事業所で当社の取組み状況をヒアリングいただき、日本原子力技術協会では、評価報告書の作成を開始している。

日本原子力技術協会からいただく評価結果や提言については、的確に対応していく。

添付資料1 耐震計算誤入力に係る監査の実施日

以 上

耐震計算誤入力に係る監査の実施日

監査確認項目 (再発防止対策)		日立GEニュークリア・ エナジー(株)	三菱マテリアル(株)	日揮(株)	三菱重工業(株)	(株) I H I	(株)東芝	住友金属鉱山(株)
耐震解析実施状況	(1) 入出力データシートによるダブルチェック	2007. 10. 15 2007. 10. 24	2007. 8. 6	2007. 8. 8	2007. 8. 10	2007. 8. 27	2007. 8. 28	2007. 8. 31
	当該設計に直接関与しない者によるダブルチェック状況							
	(2) 簡易法等による設計検証		2007. 10. 17	2007. 10. 16	2007. 10. 19	2007. 10. 18	2007. 10. 18 2007. 10. 28	2007. 10. 11
(上標記準の類への反映)	(1) 入力条件及び入力データを含む出力データシート(入出力データシート)による一貫したチェックのルール化	(2007. 6. 4-5) (*)	2007. 8. 6	2007. 8. 8	2007. 8. 10	2007. 8. 27	2007. 8. 28	2007. 8. 31
	(2) 当該設計に直接関与しない者によるダブルチェックのルール化							
	(3) 安全上重要な施設の安全機能に係る解析業務における簡易法等による設計検証の実施状況のルール化			2007. 10. 16	2007. 10. 19			
企業倫理の取組状況	(1) 内部通報制度	(2007. 6. 4-5) (*)	2007. 8. 6	2007. 8. 8	2007. 8. 10	2007. 8. 27	2007. 8. 28	2007. 8. 31
	(2) コンプライアンス教育							
	(3) 下請会社への展開							

(*)燃料取扱装置及び第1チャンネルボックス切断装置に関する耐震計算誤入力に係る是正処置の実施状況を確認